

インナー大会プレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ）タチホダイガク	フリガナ）ショウガクブショウカク	フリガナ）ショウジゼミナール
高千穂大学	商学部商学科	庄司ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 （代表者含む）	PPT 動画 （有・無）
フリガナ）ドウブツエンハン	フリガナ）タナカ サトシ	5人	無
動物園班	田中 暁		

研究テーマ（発表タイトル）

BACK TO THE 動物園 ～大学生よ、いざ動物園へ・・・！！！！～

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

SNSの旅行写真や近状報告などで、動物園の話題が少ないことについて疑問を覚えました。私たち自身で考えてみても、幼いころ行った記憶はあるが最近行った記憶がないことに気づき、大学生を中心にしようと考えました。私たちは動物園の現状を調べ、そのうち過去に動物園を繁栄させた成功例の一つである「行動展示」に着目しました。そこで、動物園側の視点ではなく見る人側の視点での行動展示で、大学生が動物園に行きたくなるような新しい環境を組み込んだ提案を考えました。この環境を目的とすることがきっかけとなり、大学生が再び動物園に行ってもらおうことで、現在横ばいの入園者数を増やすことができると考えました。

またこの機会を通して、他大学の人と交流し、多くの方々に動物園を身近に感じてもらいたいと考えています。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

現在、一部の動物園では、行動展示や珍しい動物の飼育、地域との連携などで他の動物園と差別化をすることによって入園者数を伸ばしています。しかしその一方、動物の高齢化や施設の老朽化、資金不足など様々な理由により廃園の危機に立たされている動物園も数多く存在しているのが現状でした。

こういった背景により、各動物園が様々な工夫を考案し運営していることが分かりました。

3. 研究テーマの課題

私たちが行ったアンケート結果により、大学生は幼いころに動物園に行っており、成長するに従って行かなくなることが分かりました。そのため、昔は行っていたが今行かなくなっている大学生に、再び動物園に行ってもらおうためにどうすればよいのかが大きな問題点であると考えました。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

見せる側である動物園視点ではなく見る側である大学生視点で動物園に新しい環境を作れないのかと思い、私たちは新しい環境として13個の提案を考えました。後述しますが、現役大学生にも支持を受けたこれらの提案をもちいることで入園者数が横ばいになっている動物園を改善し入園者数を増やすことができると考えました。

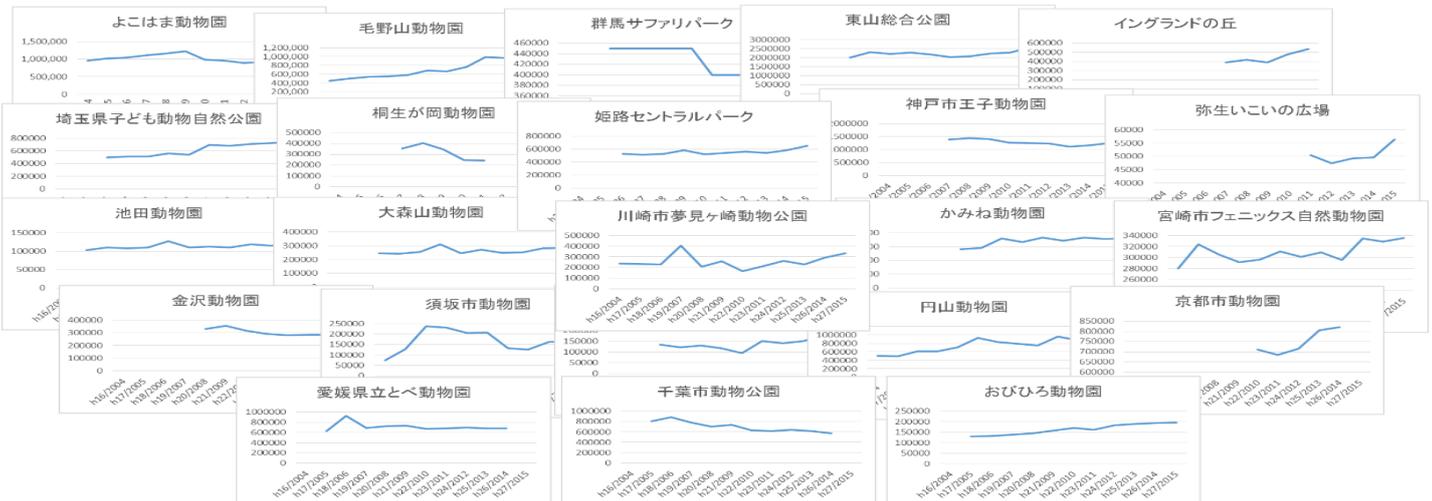
13個の提案のうち大学生に支持を受けた提案の1つ目がセグウェイを導入した動物園、2つ目がドローンを導入した動物園です。これらの提案で動物園に新しい風を呼び込むことで、大学生の入園者数を増やせるのではないかと考えました。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

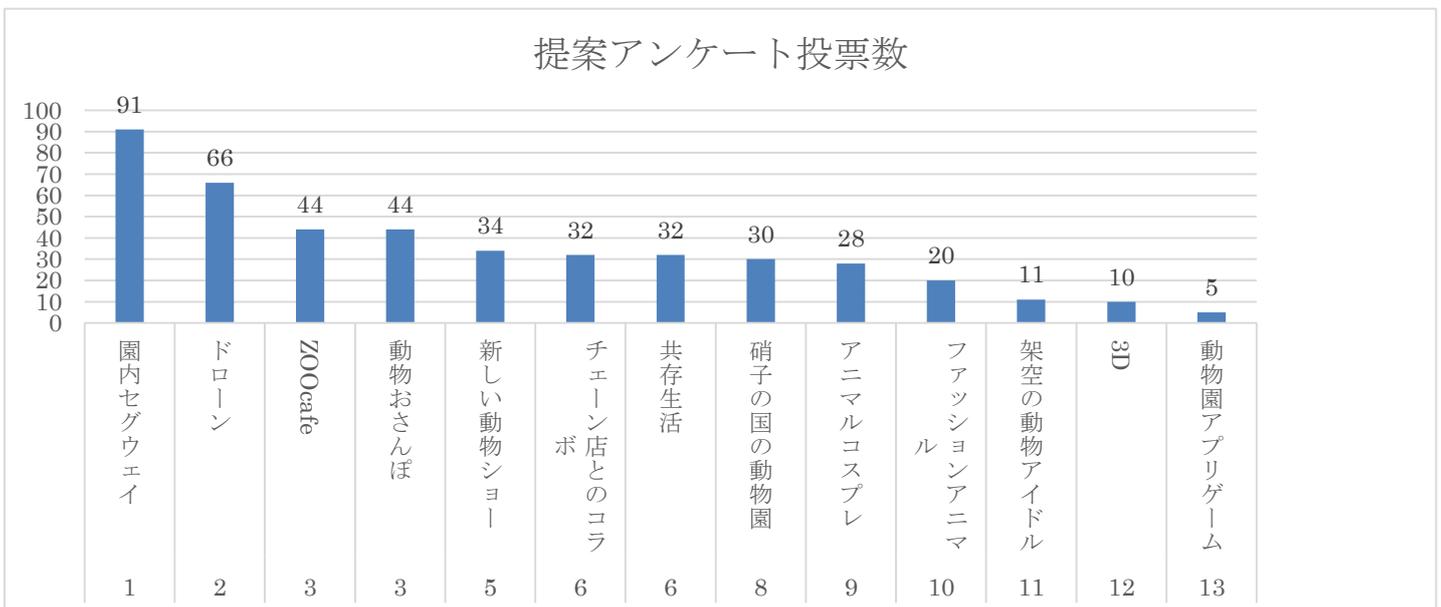
動物園の現状調査において、日本動物園水族館協会に加盟している89か所の動物園に協力を依頼し、入園者数の調査を行いました。（図1）

大学生が幼いころ行っていたという仮説から小さい子供を持つ保護者の方と、最近では行っていないという仮説から現役大学生の方にアンケート調査を行い、それぞれ大学生121名と小さい子供を持つ保護者162名の方から回答をいただきました。

また、大学生に行ってもらうために自分たちで考えた13個の提案を大学生153名に関心度のアンケート調査を行いました。（図2）



(図1)



(図2)

6. 結果や今後の取り組み

今回研究の中で、大学生に向けアンケート調査を実際に行い、大学生は動物園に行っていない傾向があることがわかりました。しかし、大学生が行ってみたいと思う新たな環境作りをすることで幼いころ行っていた大学生が再び動物園に行くようになり、入園者数を伸ばせる可能性が高いと考えました。

今後可能であれば、動物園に打診を行う、もしくは学内イベントなどで小規模実施を行い、効果のほどを確認することができればと考えています。

7. 参考文献

- 旭山市 旭山動物園 (<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/asahiyamazoo/>)
2016/04/22 アクセス
- ANIMAL RIGHTS CENTER (<http://www.arcj.org/zoo-circus/detail/zoo01.html>)
2016/04/22 アクセス
- FUJI SAFARI PARK (<http://www.fujisafari.co.jp/event/bus.html>)
2016/09/20 アクセス
- 旭市 旭山動物園
(<http://www5.city.asahikawa.hokkaido.jp/asahiyamazoo/zoo/sansaku/san.top.html>)
2016/09/06 アクセス
- 到津の森公園 (<http://www.itozu-zoo.jp/blogs/encho/2012/12/4416.php>)
2016/09/06 アクセス
- NEVER まとめ (<http://matome.naver.jp/odai/2139244669136366701>)
2016/09/06 アクセス
- 旭山動物園へ行こう (<http://asahiyamazoo-club.seesaa.net/article/51055675.html>)
2016/09/06 アクセス

インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡します。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。